

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月24日 (2011.3.24)

【公表番号】特表2010-521005(P2010-521005A)

【公表日】平成22年6月17日 (2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2009-552675(P2009-552675)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

G 0 2 B 7/36 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

G 0 3 B 19/06 (2006.01)

G 0 3 B 19/07 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/11 N

G 0 2 B 7/11 D

G 0 3 B 3/00 A

G 0 3 B 19/06

G 0 3 B 19/07

H 0 4 N 5/232 H

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月1日 (2011.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

取得されたイメージング信号から、1つのシーンの出力イメージを形成するためのエレクトロニクスカメラであり：

第1センサー出力を発生させるための第1イメージセンサーと、該第1イメージセンサー上のシーンの第1イメージを形成するための第1レンズと、第1焦点検出信号に反応し、前記第1レンズの焦点調節をするための第1レンズ焦点調節器とを含む第1イメージング段；

第2センサー出力を発生させるための第2イメージセンサーと、該第2イメージセンサー上のシーンの第2イメージを形成するための第2レンズと、及び第2焦点検出信号に反応し、前記第2レンズの焦点調節をするための第2レンズ焦点調節器とを含む第2イメージング段；及び

(a) 前記第1イメージング段からのセンサー出力を、前記取得されたイメージング信号として選択し、前記第2イメージング段からのセンサー出力を使用し、選択されたイメージング段に対して第1焦点検出信号を発生させる段階、又は (b) 前記第2イメージング段からのセンサー出力を、前記取得されたイメージング信号として選択し、前記第1イメージング段からのセンサー出力を使用し、前記選択されたイメージング段に対して第2焦点検出信号を発生させる段階、のいずれか一方を含む処理段階であり、前記取得されたイメージング信号に関して前記センサー出力を提供するイメージの焦点調節をするために、該焦点検出信号が、前記選択されたイメージング段のレンズ焦点調節器に適用される段階；

を含む、エレクトロニックカメラ。

【請求項 2】

ユーザーが焦点距離を選択することを可能にするユーザーコントロールをさらに含み、前記処理段階が、前記センサー出力の1つを、前記焦点検出信号を提供するように選択するため及び前記センサー出力のもう1つを、前記取得されたイメージング信号を提供するように選択するために、前記ユーザーコントロールに反応することを特徴とする、請求項1に記載されたエレクトロニックカメラ。

【請求項 3】

取得されたイメージング信号からの1つのシーンの出力ビデオイメージを形成するためのビデオカメラであり：第1センサー出力を発生させるための第1イメージセンサーと、該第1イメージセンサー上のシーンの第1イメージを形成するための第1レンズと、焦点変化検出信号に反応し、前記第1レンズの焦点を連続的に再調節するための第1レンズ焦点調節器とを含む第1イメージング段；

第2センサー出力を発生させるための第2イメージセンサー及び前記第2イメージセンサー上のシーンの第2イメージを形成するための第2レンズを含む第2イメージング段；及び前記第1イメージング段からのセンサー出力を、前記取得されたイメージング信号として使用し、前記シーンの出力ビデオイメージを形成するための処理段階であり、前記シーンのビデオイメージの焦点における変化を検出するため及び前記第1イメージング段に対して焦点変化検出信号を発生させるように、前記第2イメージング段からのセンサー出力を使用し、前記取得されたイメージング信号に対して出力を提供する前記第1イメージの焦点を連続的に再調節するために、前記焦点変化検出信号が、前記第1イメージング段のレンズ焦点調節器に利用される、処理段階；  
を含むビデオカメラ。